

公益財団法人わかやま地元力応援基金 平成30年度事業報告

【概要と成果】

平成30年度は、昨年度に引き続き、和歌山県における市民公益活動を支える様々なプログラムを実施した。

継続実施している印南まちづくり基金については、これまでの文化的活動に加えて、コミュニティビジネスにつながる事業の提案なども採択され、次のステップへと進むことができている。特に、山間部である真妻地区から複数の提案が寄せられるようになり、団体相互の連携と合わせて印南町と連携協力し継続支援する体制構築を行っている。事業指定寄附では、Jリーグを目指すプロチームと寄附で支援する地元企業をつなぐ新たな事業が採択され実施することができた。また、全国コミュニティ財団協会との連携により、コミュニティ財団のプログラムオフィサーの人材育成の企画等に参画し、また事務局運営および寄附者管理の効率化の推進など機能強化・寄附募集体制の充実に努めている。寄附募集に関して、県内6団体から相談を受けた。

次年度も引き続き市民コミュニティ財団として、より認知度の向上を目指し、ファンドレイジングの強化、事務局のより効率的な運営等を進めていく。

■ 資金仲介についての成果 数値寄附・助成プログラムの成果

平成30年度は、5,495,590円（前年度比616,110円減）の寄附をもとに市民公益活動を支え、地域課題解決に貢献することができた。

- ・ 地域・テーマ別基金での助成：1,650,000円（印南まちづくり基金）
1,800,000円（和歌山スポーツ未来基金）

各助成プログラムと基金への寄附額のうち10-30%程度（事業による）と財団運営への寄附はそれぞれの助成プログラムや寄附募集の費用としても活用。